



2011 年度自然災害シンポジウム

「古津波をさぐるー地層・伝承・古文書からー」の開催（お知らせ）

概要

自然災害協議会は、京都大学防災研究所に事務局を置く、日本全国の自然災害科学や防災学に携わる研究者のコミュニティを代表する組織です。自然災害とその軽減のために個別・局所的な災害事象とその影響に関する研究はもとより、巨大災害・複合災害とその広域的・社会的な影響や対策に関する研究を推進しています。中でも、当北海道地区部会では、北海道に特徴的な自然災害を中心に調査研究を進めています。

2011 年 3 月 11 日に発生しました東北地方太平洋沖地震では、太平洋沿岸地域を中心に、広域的な津波被害が発生しました。今回の被災地同様、北海道の太平洋沿岸地域もこれまでに繰り返し津波の被害を受けてきた地域です。しかし、文字記録が残されているのは過去 400 年程度であり、地質調査や先住民の口承記録など、様々な手法を用いた災害履歴の解明が求められています。

そこで、当北海道地区部会では、北海道と共通する背景を持つカムチャッカ・オーストラリア・東北・北海道における古津波研究を紹介し、北海道の古津波研究をめぐる現状についての理解を深めるため、『古津波をさぐるー地層・伝承・古文書からー』と題して、2 月 23 日（木）午後、北海道大学学術交流会館においてシンポジウムを開催することとなりました。

日程：2012 年 2 月 23 日（木）13:30～17:15（13:00 開場）

場所：北海道大学学術交流会館 大講堂（札幌市北区北 8 西 5）※JR 札幌駅北口より徒歩約 10 分

主催：自然災害協議会北海道地区部会

共催：北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター
地方独立行政法人北海道立総合研究機構防災研究会

プログラム：

- | | |
|-------------|--|
| 13:00 | 開場 |
| 13:30-13:50 | 西村裕一（北海道大学） 『北海道の古津波 ～研究の現状と防災への課題～』 |
| 13:50-14:10 | 平川一臣（北海道大学） 『千島海溝・日本海溝の過去 6000 年間の超巨大津波履歴： 波源域、スーパーサイクルを考え直す』 |
| 14:10-14:30 | 高清水康博（新潟大学） 『地層学とアイヌの口頭伝承から過去の巨大津波を探る』 ー休憩ー |
| 14:45-15:15 | キャサリン・シャギーゴフ（ニューサウスウェールズ大学／ オーストラリア原子力科学技術機構，オーストラリア） 『史実だけではない：様々な指標から古津波を知る』 ※通訳あり |

- 15:15-15:35 菅原大助（東北大学）
『地層と古記録から復元した貞観・慶長津波のすがた』
- 15:35-16:05 ブリアーニン・マネキス（北海道大学）
『千島列島における過去 3000 年間の津波履歴』 ※通訳あり
－休憩－
- 16:15-17:15 総合討論（司会：谷岡勇市郎・北大地震火山研究観測センター長）

参加費：無料

申し込み期間・方法：事前申し込みは不要です。当日、会場受付まで直接お越し下さい。

※本シンポジウムは防災担当者や専門の方を対象としておりますが、関心のある市民の方も歓迎いたします。

シンポジウムホームページ：

<http://www.sci.hokudai.ac.jp/isv/center/seminer/symposium/2011-2/2011-1.html>

注意事項：北海道大学構内には、車で乗り入れできません。バス・地下鉄等の公共交通機関のご利用をお願いします。

お問い合わせ先

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター 地震火山地域防災情報支援室
TEL: 011-706-3591 FAX: 011-716-2165 E-mail: isv-web@mail.sci.hokudai.ac.jp

2011年度 自然災害シンポジウム

古津波をさぐる

—地層・伝承・古文書から—

日時：2012年2月23日(木) 13:30-17:15

場所：北海道大学学術交流会館大講堂 (札幌市北区北8条西5丁目)

アクセス JR「札幌駅」下車、徒歩10分

市営交通・地下鉄南北線・東豊線「札幌駅」下車、徒歩15分

主催：自然災害協議会北海道地区部会

共催：北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター
地方独立行政法人北海道立総合研究機構防災研究会

* 本シンポジウムは防災担当者や専門の方を対象としておりますが、関心のある市民の方も歓迎いたします

* 英語講演には通訳があります 入場無料

プログラム

13:00 開場

13:30-13:50 西村裕一 (北海道大学)

「北海道の古津波 ～研究の現状と防災への課題～」

13:50-14:10 平川一臣 (北海道大学)

「千島海溝・日本海溝の過去 6000 年間の超巨大津波履歴：
波源域，スーパーサイクルを考え直す」

14:10-14:30 高清水康博 (新潟大学)

「地層学とアイヌの口頭伝承から過去の巨大津波を探る」

—休憩—

14:45-15:15 キャサリン・シャギーゴフ (ニューサウスウェールズ大学 /
オーストラリア原子力科学技術機構, オーストラリア)

「史実だけではない：様々な指標から古津波を知る」

15:15-15:35 菅原大助 (東北大学)

「地層と古記録から復元した貞観・慶長津波のすがた」

15:35-16:05 ブリアーニン・マキネス (北海道大学)

「千島列島における過去 3000 年間の津波履歴」

—休憩—

16:15-17:15 総合討論